

# 個別避難計画作成のための優先順位チェックシート

【障がい者・医療的ケア児(者)用】

氏名： 年齢： 歳 住所：高島市 作成者： 作成日： 年 月 日

状態概要：

	調査項目	点数							点数
		0	1	2	3	4	5	6	
① リスク	1-1 自宅の浸水想定(※1)	入っていない			黄 0.1~0.5m ×2	緑 0.5~1.0m ×2	水色 1.0~2.0m ×2	青・ピンク 2.0~5.0m以上 ×2	
	1-2 土砂災害警戒区域(※2)	入っていない						入っている ×2	
	1-3 家屋の倒壊危険度(※3)	S56年5月31日以後着工・完成						S56年5月31日以前着工・完成	
② 本人の状態	2-1 自力での移動(用具込み)(※4)	できる					できない ×2		
	2-2 意思伝達(助けを呼べる)(※5)	できる					できない		
	2-3 意思疎通	できる					できない		
	2-4 特別な医療(※6)	なし					あり		
	2-5 (2-4のうち) 電源使用が必要な医療機器 (人工呼吸器・酸素療法・吸引機等)	なし					あり		
	2-6 障害支援区分(※7)		区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	
	2-7 行動点数		10点未満		10点以上		15点以上		
	2-8 精神症状による混乱の有無	なし			可能性がある		あり		
	2-9 危険度察知(※8)	できる					できない		
③ 環境	3-1 世帯状況	同居					独居 ×3		
	3-2 世帯状況(時間帯)(※9)	終日家族と同居			日中独居 ×2		終日独居 ×2		
	3-3 家族の判断力	あり					なし		
	3-4 家族介護力(家族がいない場合は記入不要) <small>家族の介護度および障がい認定</small>	認定なし					認定あり		
	3-5 家族の自力移動	できる					できない		
	3-6 家族の介助で移動(※10)	できる					できない		
	3-7 家族以外の支援の可否(地域・区・自治会・親族・近隣)(※11)	あり					なし		
	3-8 サービス利用状況(※12)		月半分以上		半分以上		利用していない		
								合計	

リスク	※	原子力災害時のUPZ圏内(※13)
-----	---	-------------------

- ※1 高島市総合防災マップ(風水害編)上で対象者の自宅の浸水深を確認。
- ※2 高島市総合防災マップ(風水害編)上で、土砂災害危険箇所(急傾斜危険箇所・地すべり危険箇所・土石流危険渓流)、土砂災害(特別)警戒区域(急傾斜地(特別)警戒区域、土石流(特別)警戒区域)に対象者の自宅が入っているかどうかで判断。  
これらの箇所が2つ以上重なって対象者の自宅に入っている場合、12点を上限とする。
- ※3 昭和56年5月31日以前に着工され、完成している建物であれば「5」とする。ただし、耐震工事を実施済みの場合は「0」とする。
- ※4 区・自治会が設置する避難所(一次避難所)まで、自力で移動できるかで判断する ※能力面・機能面を総合的に判断
- ※5 周りの人に助けを呼ぶ手段を知っているか。助けを呼べるかどうかで判断する。
- ※6 点滴の管理、中心静脈栄養、透析、・ストーマ・カテーテル管理、気管切開の処置、疼痛管理、経管栄養、褥瘡処置、人工呼吸器・酸素療法・吸引機等を使用、その他
- ※7 18歳未満の方については、障害支援区分がないため、今後の見込みを想定し支援区分を判断する。
- ※8 視覚、聴覚、知的能力を含めて察知できるかできないかで判断する。
- ※9 終日独居とは、対象者のみの世帯。  
日中独居とは、家族はいるが、1日の内対象者のみが家にいる時間帯が常に約半日以上ある世帯。  
終日同居とは、対象者が家にいる時間帯に概ね家族がいる世帯。
- ※10 家族の介護力により判断する。対象者を介護して一緒に移動できるかどうかで判断する。
- ※11 単純にあるかなしかで判断をする。
- ※12 月の半分以上、通所・施設系のサービスを受けているかどうかで判断する。
- ※13 対象者の地区が、原子力災害発生時にUPZ圏内に入っているか確認する。  
高島市総合防災マップP43～P44で区・自治会名を確認し、名があれば○をする。  
(点数は付さないが、原子力災害用の避難フローチャートの作成を追加するため)